

注射用抗がん剤の溶解方法

薬品名	規格	針	溶解方法・注意点
アクブラ静注	10mg	18G	1Vにつき生食5mLで溶解
	50mg	18G	1Vにつき生食10mLで溶解
	100mg	18G	1Vにつき生食20mLで溶解
アクラシノン注	20mg	18G	1Vにつき生食or5%ブドウ糖10mLで溶解、バイアル内陰圧が強い
アバスチン注	100mg	18G	発泡に注意、生食で希釈する
	400mg	18G	
アービタックス注	100mg	18G	ゴム栓のコアリングに注意
アブラキサン注	100mg	18G	1Vにつき生食20mLを入れて静置する(5分以上)。発泡に注意しながらゆっくり攪拌し溶解する。ゴム栓弱く液漏れ注意。特生物扱い
アリムタ注	100mg	21G	1Vにつき生食4.2mlで溶解する(25mg/mL)
	500mg	18G	1Vにつき生食20mlで溶解する(25mg/mL)
アルケラン静注	50mg	18G	1Vにつき添付溶解液10mL(全量)で溶解 調製後1.5時間以内に投与完了のこと
イダマイシン注	5mg	21G	1Vにつき注射用水or生食5mLで溶解、バイアル内陰圧が強い
注射用イホマイド	1000mg	18G	1Vにつき注射用水or生食25mLで溶解、ゴム栓からの漏出注意
イムシスト	81mg	21G	1Vにつき添付溶解液3mLで溶解、バイアル内陰圧が強い 感染防止のため、消毒してから廃棄する
イムノブラダー	80mg	21G	1Vにつき生食2mLで溶解、バイアル内陰圧が強い 感染防止のため、消毒してから廃棄する
エクザール注	10mg	18G	1Vにつき注射用水or生食10mLで溶解
エトボシド注	100mg5mL	18G	結晶析出に注意(濃度・調製後時間) 専用ルート(DEHPなし、フィルターなし)
エビルピシン注	10mg	18G	1Vにつき注射用水or生食5mLで溶解、バイアル内陰圧が強い
	50mg	18G	1Vにつき注射用水or生食25mLで溶解、バイアル内陰圧が強い
エルブラット点滴静注液	50mg	18G	5%ブドウ糖で希釈する
	100mg	18G	
注射用エンドキサン	500mg	18G	1Vにつき生食25mL以上を入れ2分以上強く振って溶解
オンコピン注	1mg	21G	1Vにつき注射用水or生食5mLで溶解
カルセド注	20mg	18G	使用全量あたり生食or5%ブドウ糖20mLで溶解
	50mg		
カルボプラチン注	50mg5mL	18G	バイアル内がやや陽圧、過量充填あり
	150mg15mL	18G	
	450mg45mL	18G	
キロサイド注	20mg1mL	18G	ガラス片注意(フィルター通すこと)
	40mg2mL	18G	
	200mg10mL	18G	
	400mg20mL	18G	
キロサイドN注	1000mg	18G	過量充填あり
コスメゲン	0.5mg	21G	1Vにつき注射用水1.1mLで溶解。溶解後0.5mg/mL
コホリン	7.5mg	21G	1Vにつき添付溶解液(生食)7.5mLで溶解。溶解後1mg/mL
注射用サイメリン	100mg	18G	1Vにつき生食or5%ブドウ糖10~20mLで溶解
注射用サンラビン	150mg	18G	1Vにつき注射用水15mLで溶解。溶解後10mg/1.1mL 専用ルート(DEHPなし、フィルターなし)
ジェムザール注	200mg	18G	1Vにつき生食5mL以上を入れ強く振って溶解
	1000mg	18G	1Vにつき生食25mL以上を入れ強く振って溶解
シスプラチン注	10mg20mL	18G	生食で希釈
	25mg50mL	18G	
	50mg100mL	18G	

注射用抗がん剤の溶解方法

薬品名	規格	針	溶解方法・注意点
ダウノマイシン注	20mg	18G	1Vにつき生食10mLで溶解
ダカルバジン注	100mg	18G	1Vにつき注射用水10mLで溶解。ルート全体を遮光
テモダール注	100mg	18G	1Vにつき注射用水41mLで溶解。溶解後2.5mg/mL
テラルピシン注	10mg	18G	1Vにつき注射用水or生食or5%ブドウ糖10mLで溶解
	20mg	18G	1Vにつき注射用水or生食or5%ブドウ糖10mLで溶解
ドキシル注	20mg10mL	18G	粘調、5%ブドウ糖で希釈する
ドセタキセル(タキソテール)注	20mg0.5mL	18G	添付溶解液すべてを泡立てないように入れてバイアル全体になじませ、ゆっくり転倒混和。調製後4時間以内に投与完了のこと
	80mg2mL	18G	
ドセタキセル(タキソテール)注 (アルコール抜きの調製)	20mg0.5mL	18G	生食or5%ブドウ糖を1.8mL入れ1分以上激しく振り混ぜる。ゴム栓を下に10分放置し、20mgなら2mL量りとする。
	80mg2mL	18G	生食or5%ブドウ糖を7mL入れ1分以上激しく振り混ぜる。ゴム栓を下に10分放置し、80mgなら8mL量りとする。
トポテシン注	40mg2mL	21G	バイアル内がやや陽圧、過量充填あり
	100mg5mL		
トリアキシン注	100mg	18G	1Vにつき注射用水40mLで溶解。溶解後2.5mg/mL 調製後1.5時間以内に投与完了のこと
トリセノックス注	10mg10mL	18G	ヒ素含有製剤、院内の取り決めに従って残液、空アンプル、シリンジ、輸液バッグ、点滴ラインを廃棄する。
ナベルピン注	10mg1mL	21G	平均実容量約1.1mL。希釈液は50mL
	40mg4mL	21G	平均実容量約4.3mL。希釈液は50mL
ニドラン注	50mg	18G	1Vにつき注射用水10mLで溶解
ノバントロン注	20mg10mL	18G	液面が見え難い
ハイカムチン注	1.1mg	21G	生食3.3mLで溶解(1mg/3mL)、生食100mLに希釈
ハーセプチン注	60mg	21G	注射用水3mLをゆっくり入れてバイアル全体になじませ、ゆっくり転倒混和。透明になってから量りとする。発泡に注意。(21mg/mL)
	150mg	21G	注射用水7.2mLをゆっくり入れてバイアル全体になじませ、ゆっくり転倒混和。透明になってから量りとする。発泡に注意。(21mg/mL)
バクリタキセル(タキソール)注	30mg5mL	18G	粘調、輸液注入時に発泡注意。
	100mg16.7mL	18G	専用ルートセット(DEHPなし、0.2μmのフィルターあり)
5-FU注	250mg5mL	18G	平均実容量約5.3mL。ガラス片に注意(フィルター通す)
	1000mg20mL	18G	過量充填あり
注射用フィルデシン	1mg	21G	1Vにつき注射用水or生食1mLで溶解
	3mg	21G	1Vにつき注射用水or生食3mLで溶解
ブスルフェクス注	60mg10mL	18G	使用する液量の10倍の生食で希釈する(11倍希釈)
フルダラ注	50mg	21G	1Vにつき注射用水2.5mLで溶解
ブレオ	5mg	21G	1Vにつき注射用水or生食5mLで溶解
	15mg	18G	1Vにつき注射用水or生食10mLで溶解
ベクティビックス注	100mg5mL	21G	白色沈殿ができた場合はフィルターをして通して生食で希釈する
	400mg20mL	18G	
ペブレオ注	5mg	21G	1Vにつき注射用水or生食or5%ブドウ糖2.5mLで溶解
マイトマイシン注	2mg	21G	1Vにつき注射用水5mLで溶解。生食で溶解の場合、調製後1時間以内に使用
	10mg	21G	1Vにつき注射用水25mLで溶解。生食で溶解の場合、調製後1時間以内に使用
マイロターグ注	5mg	21G	1Vにつき注射用水5mLで溶解し、生食100mLで希釈。遮光
メソトレキセート注	5mg	21G	1Vにつき注射用水or生食or5%ブドウ糖2mLで溶解
	50mg	18G	1Vにつき生食or5%ブドウ糖20mLで溶解。高濃度は注射用水
	200mg8mL	18G	液体製剤、過量充填あり
リツキサン注	100mg10mL	18G	発泡に注意
	500mg50mL	18G	
ロイナーゼ注	10,000K単位	21G	1Vにつき注射用水2~5mLで溶解(筋注は1mLで溶解)
ロイスタチン注	8mg8mL	18G	

当院では、抗がん剤調製用の注射針は18G(ゲージ)と21G(ゲージ)を使用しており、調製する抗がん剤の薬液量、粘調性などの条件により使い分けしています。